

広島市歯科医師会だより



7月号

Hiroshima City Dental Association

No.159 (R2.7.9)



目次

おしらせ(重要)

本年度定期健康診断(学校歯科健診、9月中旬より開始予定)での感染症対策と 今後の学校保健に係る大まかな予定について.....	1 ページ
アウトリーチ型オーラルフレイル予防事業が始まります。.....	3 ページ
令和2年度乳幼児健康診査(1歳6か月児健診、3歳児健診)の 歯科医師会会員医療機関における個別健康診査(特例)の実施について.....	3 ページ

行事報告

「保育施設での歯科疾患及び歯科保健活動の実態調査会議」日歯広報掲載.....	5 ページ
高邑勉元衆議院議員よりゴーグル寄贈.....	5 ページ
第4回 支部長・副支部長会議.....	6 ページ
おくちの健康展代替案検討会議.....	7 ページ
一般社団法人広島市歯科医師会第113回 定時総会.....	7 ページ

支部だより

中区支部.....	10 ページ
-----------	--------

各部委員自己紹介(地域歯科保健部)

(前田羊一委員長・濱岡代枝副委員長・森川英彦副委員長・中川誠副委員長).....	12 ページ
--	--------

会長コラム『柔しく剛く』.....	16 ページ
-------------------	--------

新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み.....	17 ページ
----------------------------------	--------

各部からの報告

広島市医療安全推進協議会より「こんな医療トラブルが起きています」(総務部).....	18 ページ
「矯正歯科無料相談会」及び「2歳児フッ素塗布事業」再開のお知らせ(地域歯科保健部).....	19 ページ
今月の知っておきたいこと(広報部).....	19 ページ
FMちゅーピー(広報部).....	23 ページ
誰もが納得! I L♥ve 広島弁じゃけえ。(広報部).....	23 ページ

会員ひろば

新入会員紹介.....	24 ページ
-------------	--------

6月定例理事会報告.....	25 ページ
----------------	--------

重要

お知らせ

本年度定期健康診断(学校歯科健診、9月中旬より開始予定)での感染症対策と今後の学校保健に係る大まかな予定について

6月25日の広島市定例市議会で、特定財源を財源とする総額40億円余りの補正予算が可決されました。このうちほぼ1/4となる10億円余りが「学校の段階的再開に伴う児童生徒等の学びの保障」に振り向けられています。さらにこの内訳を見ると、学習内容を次年度に先送りすることができない小学校6年生及び中学校3年生への効果的な学習支援を行うための非常勤講師の配置に約1/4の2億3,459万円、学校内の消毒等の感染症対策に従事するスクール・サポート・スタッフの配置に約1/4となる2億3,404万円、感染症対策のための物品等の購入のための費用として約1/2の5億4,729万円が充てられています。この最後の項目を財源として、9月中旬以降に実施が予定されている今年度の定期健康診断での感染症対策等が行われることになっています。本会の立場から見たこれに至る経緯を報告いたします。

3月25日に広島市と広島市教育委員会は新学期からの学校の再開を決定し発表しました。それと同日に広島市教育委員会が本会に来会され、三役及び学校保健担当理事は学校再開後の定期健康診断実施への協力の要請を受けました。このこともあり、本会では定期健康診断実施に協力する方向で感染症対策等の方策を検討していましたが、一転して「延期するべき」と意思決定したのが4月2日深夜のことでした。これは1日のうちに4人の新型コロナウイルス感染症患者が発生し、未だクラスター発生を経験したことがなかった広島市に激震が走った日にあたります。翌日を教育委員会や広島市域の他の歯科医師会との調整に費やし、会員の皆様へは4日にFネット配信にて中止のお知らせをさせていただきました。

その後、4月15日から広島市立学校は段階的に再度の一斉休校に入りましたが、その時点では5月連休明けの学校再開が予定されていたため、4月14日には熊谷宏会長と教育委員会の間で学校再開後に実施される定期健康診断についての話し合いが持たれました。その席で会長は、希望する歯科医師全員がダブルミラーで健康診断を実施することができるようにすることなど、万全の感染症対策の実現を要望しました。このことが、後に6月末から実施いたしました今年度分のダブルミラー実施希望の「再調査」につながってくることとなります。

一方、本会の有馬隆理事(学校保健担当)が委員長を務める県歯会学校保健部では、4月23日に広島県内の郡市区歯科医師会学校保健担当理事を対象として「新型コロナウイルス感染症拡大下における郡市区歯科医師会学校歯科保健の現状把握調査」と題する緊急アンケート調査を実施しました。そこで抽出された実施上の課題を出発点とし、県歯会の山崎健次専務理事、上川克己常務理事らの迅速な判断を得て、上田裕次理事を担当理事として「新型コロナウイルス感染症流行後の学校歯科健康診断における感染対策検討会議」(委員長有馬隆理事)が設置されました。同会議は学識経験者として香西克之広島大学大学院医系科学研究科小児歯科学教授、内藤真理子同口腔保健疫学教授を迎え、県及び市の教育委員会等行政機関関係者の参加を得たほか、本会地域歯科保健部より濱岡代枝副委員長及び中川誠副委員長が参画しました。会議は約1ヶ月半の活動期間中に「新型コロナウイルス流行後の学校歯科健康診断における感染症対策の指針」及びポスター2点(児童生徒等向け、一般市民向け)を作成し、7月1日に県歯会HPで公開しました。「感染症対策の指針」については、今後も新たな知見や情勢の変化に応じて改訂を行うことにしています。

この「感染症対策の指針」は、前述の「郡市区歯科医師会担当理事アンケート」で抽出された課題についての会議での議論を踏まえ、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管

理マニュアル『学校の新しい生活様式』（文部科学省）、「学校歯科健康診断時の感染症対策についてのお願い」（日本学校歯科医会）、「児童生徒等の健康診断マニュアル平成 27 年度改訂」（日本学校保健会）、「一般歯科診療時の院内感染対策に係る指針（第 2 版）」（日本歯科医学会）等を参照しつつ作成されました。現在、学校現場には「学校の新しい生活様式」が浸透しているため、これが示す項目分類に沿って歯科健康診断特有の事項を整理することにより、学校現場で「実際に活用しやすい指針」とすることを目指しました。

今後の健康診断実施にあたっては感染症対策が非常に重要となっておりまいますので、県歯会HPよりダウンロードの上でご確認願います。特に重要なトピックスは下表の通りです。

- ・ 歯科医師自身の体調管理
- ・ 手指衛生の励行
- ・ 受診者 1 人ひとりグローブを交換
- ・ ダブルミラー(※)による健康診断
- ・ サージカルマスクの着用
- ・ 眼の保護具の装着(フェイスシールド、ゴーグル)
- ・ 終了時間に十分な余裕を持つての出務

【表：定期健康診断での感染症対策の主な項目】

特に最後の項目である「終了時間に十分な余裕を持つての出務」については、歯科医師のグローブ交換、児童生徒等のマスクの着脱、ソーシャルディスタンス確保等により、**従来の健康診断よりも所要時間が大幅に拡大することが予想されていることから、十分にご留意ください。**

また、7 月 1 日には再び、熊谷宏会長と広島市教育委員会の間で会談がもたれ、改めて感染症対策の徹底と円滑な定期健康診断の実施体制作り等で協力していくことを確認しました。実施体制の具体については、8 月前半に定期健康診断への出務日程表をお届けする際に、資料として同封させていただきます。

今後とも本会の学校保健事業へのご高配の程よろしくお願い申し上げます。

※参考：「ダブルミラー」とは右図のように両手にミラーを持ち健康診断を実施する方法です。視野や口腔内の照度を確保しやすいこと、感染防止などの利点があります。



「ダブルミラー」による健康診断

学校保健に係る今後の大まかな予定

7 月上旬	今年度定期健康診断等のためのダブルミラー実施希望再調査
7 月下旬	来年度定期健康診断等のためのダブルミラー・グローブサイズ希望調査
8 月初旬	教育委員会より本年度定期健康診断への歯科医師派遣依頼が本会に到着
8 月中旬	会員の皆様へ定期健康診断出務日程表をお届け
8～9 月	新任嘱託歯科学校医研修会
9 月中旬	定期健康診断（学校歯科健診）開始(年内に終了予定)
10月29日	学校歯科医協議会
11 月 1 日	就学時健康診断開始

アウトリーチ型オーラルフレイル予防事業が始まります。

1：背景 -高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施-

経済財政運営と改革の基本方針 2018(平成 30 年 6 月 15 日閣議決定)において「高齢者の通いの場を中心とした介護予防・フレイル対策や生活習慣病等の疾病予防・重症化予防、就労・社会参加支援を都道府県等と連携しつつ市町村が一体的に実施する仕組みを検討するとともに、インセンティブを活用することにより、健康寿命の地域間格差を解消することを目指す」を踏まえた、「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律(令和 2 年 4 月 1 日施行)」において、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施等」が盛り込まれました。

2：高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の意義

75 歳に到達すると、それまで加入していた国民健康保険制度等から、後期高齢者医療制度の被保険者に異動することになります。この結果、保健事業の実施主体についても市町村等から後期高齢者医療広域連合に移ることとなり、74 歳までの国民健康保険保健事業と 75 歳以降の後期高齢者医療制度の保健事業が、これまで適切に継続されてこなかったといった課題が見られます。一方介護予防の取り組みは市町村が主体となって実施しているため、健康状況や生活機能の課題に一体的に対応できていないという課題があります。

広域連合は、高齢者医療制度の運営を通じて健康・医療情報を統括的に有しており、市町村等と協力して地域住民に身近なところで健康支援を行うことにより、前期高齢者などの国民健康保険世代からの連続した健康の管理や、さらに年齢を重ねて疾病が重症化したり要介護状態になったりした場合の介護保険への接続など、住み慣れた地域での活動や医療、介護等のサービスに高齢者を適切につなげ、必要な保健指導等の健康支援を実施することが可能となります。

3：広島市の取り組み -アウトリーチ型オーラルフレイル予防事業-

本年度、広島市の委託を受け、本会で標記事業を中区においてモデル的に開始します。当初 4 月からの開始予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施が先送りされておりました。本事業の概要として、

広島市が、後期高齢者歯科健診結果や医療レセプト、介護レセプト、要介護認定、地域ケアマネジメント会議等の情報などを一括把握し、オーラルフレイル該当者を把握するとともに、本事業に協力していただける歯科衛生士を歯科衛生士会より派遣していただき、通いの場における健康教育や健康相談等を通じ、広域連合で把握しきれないオーラルフレイル該当者を抽出します。

オーラルフレイル該当者に対し、協力歯科衛生士による個別相談や自宅訪問によって、口腔機能向上のための相談・助言を行うとともに、歯科医院への受診勧奨や短期集中型通所口腔ケアサービス等、適正な医療、介護予防事業につなげていくことを目的とします。

本事業を通じ、会員の先生方、短期集中型口腔ケアサービス協力医の先生方には、行政、地域包括支援センター、担当理事、協力歯科衛生士より連絡が入ることがありますが、その際はご協力賜るよう、よろしくお願いいたします。

なお、本年度は中区におけるモデル事業ですが、広島市は来年度より南区、西区、東区に展開する予定であることを申し添えます。

令和 2 年度乳幼児健康診査(1 歳 6 か月児健診、3 歳児健診)の 歯科医師会会員医療機関における個別健康診査(特例)の実施について

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から 4 月 20 日より中止されている各区保健センターにおける集団健診(1 歳 6 か月健診、3 歳児

健診)について、実施体制が整い再開されるまでの間に未受診の乳幼児(5 月末時点で 1 歳 6 か月児健診対象者 1,587 人、3 歳児健診対象者

2,030人)については、小児科・歯科の各医療機関における個別健康診査として実施する旨が通知されました。

歯科においては、母子保健事業の主旨に鑑み、全市均質な保健指導等を実施するために、広島市より送付された「乳幼児健康診査マニュアル」

を十分にご確認いただき、内容に同意していただける会員診療所のみによる手上げ方式にて実施することになりましたが、異例のことで混乱も予想されるため、マニュアルの中でも特に注意が必要な点について以下にお知らせいたします。

- ①自己負担は無料であり、健康保険証の提示を求めないでください。
- ②保護者が診査票等を何も持たず受診された場合は、健診実施前に必ずこども・家庭支援課に連絡して指示を受けてください。
- ③小児科での1歳6か月児健診及び3歳児健診対象者にも同様の案内を送付しているため、受付時に歯科用の乳幼児健康診査の書類であることを確認して実施してください。
- ④本事業は「健康診査」であるため治療は行わないでください。歯科疾患を認め治療に移行するときは、必ず後日実施することとし、保険診療に係る一部負担金が発生することを対象者の保護者へ必ず説明し、同意を得てください。
- ⑤1歳6か月児健診では希望者にフッ素塗布を行います。
- ⑥3歳児健診ではフッ素塗布は行いません。
- ⑦口腔内診査だけでなく、歯科衛生士(又は歯科医師)による5~10分程度の母子保健指導を行います。
- ⑧問診内容(指しゃぶりや母乳の状況等)に応じ、マニュアルに沿った指導を行います。
- ⑨多数のう歯を認めたり、極端に不潔な口腔内の場合、保護者の健康管理意識の低さや子供への関心の低さ等が疑われるため、注意深くフォローをしていく必要があるため、診査票「特記事項」への記入をもって保健センターへ伝えることとし、その場で保護者に強く指摘したりしないでください。
- ⑩健診結果は、各保健センターでのフォローにつなげるため、返信用封筒を使用し「直ちに」診査票をこども・家庭支援課に送付します。
- ⑪診査票は複写ではない単票のため、必要な場合は各自コピーを取るなどしてください。
- ⑫請求書と請求券は月末締めで取りまとめ、翌月15日までに「こども・家庭支援課」へ郵送します。同健診は、各医療機関と広島市との個別契約による実施となり、健診票や請求書の送付は、行政広島市「こども・家庭支援課」宛になります。
- ⑬今回の健康診査の受診券等は令和3年3月31日まで使用できます。令和3年4月以降は受診券を提出されても無効となります。
- ⑭令和3年3月実施分の請求券と請求書は3月31日(消印有効)までに送付してください(4月15日締め切りではありません)。

【委託料】

(1)1歳6か月児歯科健康診査(フッ素塗布無し)	5,310円
(2)1歳6か月児歯科健康診査(フッ素塗布有り)	6,960円
(3)3歳児歯科健康診査	5,310円

行事報告

「保育施設での歯科疾患及び歯科保健活動の実態調査会議」

日歯広報掲載

平成 29 年秋に本会から広島県歯科衛生連絡協議会に提案されたことが端緒となり、広島県歯科医師会及び広島市歯科医師会、保育に関連する県内の行政機関、関連団体、保育施設関係者等で構成する「保育施設での歯科疾患及び歯科保健活動の実態調査会議」が設置された(平成 30 年 4 月)。会議の 2 年に及ぶ活動の結果得られた知見は、公益財団法人 8020 推進財団歯科保健活動助成交付を得て、「元気なおくちで大きくなろうー子どもの歯

と口の健康格差解消のためにー」と題する報告書にまとめられ(令和 2 年 3 月)、広島県内の保育施設、行政機関等に加え、大学保育及び栄養関連学科等に配布された。以上のような会議の一連の活動について紹介した記事が、日歯広報 1749 号(6 月 1 日発行)に掲載された。なお、本会議には委員長として有馬隆理事のほか、地域歯科保健部より加藤正昭副委員長(当時)、濱岡代枝副委員長、森川英彦副委員長、野村登志夫委員(当時)が参加した。



高邑勉元衆議院議員よりゴーグル寄贈

日時：6 月 10 日(水)午前 10 時 30 分

場所：広島市歯科医師会「会長室」

高邑勉(たかむらつとむ)元衆議院議員が広島市歯科医師会にゴーグルを 100 個寄贈されました。

同氏は(社)日中韓国際貿易促進協会会長、鳩山由紀夫事務所アジア・中国担当顧問。2018 年(社)日中一帯一路促進協会の理事長に就任。2019 年(公財)友愛の理事に就

任。「新型肺炎支援対策会議」の事務局長を務めておられます。(6 月 22 日より配布の KN95 マスクにおいても西村まさみ元参議院議員から、高邑勉元衆議院議員をご紹介いただき、高邑元議員よりご紹介いただいた信頼できる業者から廉価で購入しております。)



(左) 高邑勉元衆議院議員と本会事務局員(右) ゴーグル

第4回 支部長・副支部長会議

日時：6月17日(水)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

執行部から熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事、若林大輔理事が出席した。始めに熊谷会長より「前回の支部長・副支部長会議ですが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い書面会議となりました。本会としても対策として、だより、号外を通して先生方のお役に立てるようしておりますが、ご満足いただけない所もあり申し訳ないと思っております。ご意見等頂きこれからはしっかりやっけていこうと考えています。事業、イベント等中止、変更が多く本日も広島市乳幼児保健事業の説明に若林理事にも来てもらっています。本日もよろしく願いたします。」と挨拶があった。報告、協議事項は以下の通りである。

報告		西区支部	
中区支部		4月15日	第1回支部長・副支部長会議(書面)
4月23日	深井歯科医院廃院 深井直樹先生 R2.2.28付	4月24日	益田隆志先生入会
4月15日	第1回支部長・副支部長会議(書面)	4月28日	渡邊竜太先生入会
5月15日	国保組合理事会(書面議決)	5月15日	国保組合理事会(書面議決)
5月30日	広島県歯科医師会協同組合第38回 通常総代会(書面議決)	5月18日	広島市歯科医師会選挙管理委員 西区支部木本極先生推薦
6月6日	ソフトボール練習	5月30日	広島県歯科医師会協同組合第38回 通常総代会(書面議決)
6月13日	(県歯)第147回定時代議員会 (書面議決)	6月8日	西区支部例会代替 FAX 新入会員及び 会計報告(書面)
		6月13日	(県歯)第147回定時代議員会 (書面議決)
東区支部		協 議	
4月15日	第1回支部長・副支部長会議(書面)	①中 区	
5月15日	国保組合理事会(書面議決)	・新型コロナウイルス感染下における支部イベントのあ り方について	
5月18日	広島市歯科医師会選挙管理委員東区 支部木村太言先生推薦	・ソフトボール大会中止における代替大会開催の是非に ついて	
5月30日	広島県歯科医師会協同組合第38回 通常総代会(書面議決)	・周術期の病診連携協力歯科医リスト等の作成について	
6月3日	東区子育て交流ひろば運営協議会	・中国新聞広告社について	
6月5日	東区地域保健対策協議会第1回在宅 医療・介護連携推進委員会	②執行部	
6月13日	(県歯)第147回定時代議員会 (書面議決)	・広島県歯科医師会第147回定時代議委員会について	
南区支部		・広島市歯科医師会第113回定時総会について	
4月15日	第1回支部長・副支部長会議(書面)	・広島市乳幼児保健事業について	
6月13日	(県歯)第147回定時代議員会 (書面議決)	・日本歯科医師会選挙人の選出について	
		・新型コロナウイルス感染症対策について ついて	

おくちの健康展代替案検討会議

日時：6月22日(月)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

おくちの健康展は、例年6月の「歯と口の健康週間」に広島そごう屋上にて、2千人を超える来場者を迎える普及啓発イベントで、今年は第36回おくちの健康展が6月14日開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い一旦は11月に延期となっていたものの、3密を避けられないこと、対面式のブースでの開催が多いことなどから今年度の開催は中止することを決定した。

このままでは貴重な広島市民への普及啓発の場を失うことから、標記会が、執行部から熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事、水内裕之理事、若林大輔理事、藤田友昭理事、前田羊一地域歯科保健部委員長が出席して、広島テレビ放送(株)井坂雄幸氏、(株)アトラクト・ワン道岡俊樹氏、瀧本雄大氏、宮城昌治健康福祉局医務監兼保険年金課保健指導担当課長兼健康推進課保健指導担当課長をお迎えし開催された。会議では、初めに熊谷宏会長からこれまでの経緯と、代替案として普及啓発用の動画制作の説明があり、動画の内容、発信方法について

の協議が行われた。

また、同時に広島市経済観光局経済企画課の新型コロナウイルス影響事業者緊急支援事業を利用し、これまでの不正確な報道等によって発生していた新型コロナウイルス感染症の影響による、患者の歯科受診に対する不適切な抑制の解消を目的とした動画制作も決定し代替事業推進へ向けて動き出した。



会議の様子

一般社団法人広島市歯科医師会第113回 定時総会

日時：6月27日(土)午後2時

場所：県歯会館2階「ハーモニーホール」

議長 中区 大石正臣氏、副議長 南区 佐々木みどり氏

議事録署名者 南区 石川潔氏、中区 三次みさと氏

一般社団法人広島市歯科医師会第113回定時総会が能美和基本会専務理事の開会の辞より始まった。今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として席の間隔を広くして部屋の換気を行いながら時間短縮での開催となった。

まず平成31年4月以降に物故された会員の皆様(西区支部 浜松伸三氏、中区支部 小崎正晴氏、中区支部 大野正司氏、西区支部 北本純司氏、中区支部 三宅貫一氏)へ黙祷を捧げた。

はじめに熊谷宏本会会長より「今回のコロナ禍は大規模災害に匹敵する緊急事態だととらえ①会員への情報提供②不足する医療物資等の物的支援を大きな柱とし、あらゆる情報や不足する医療物資を会として集め、すべて

の会員に無償で提供することを徹底してまいります。執行部一同、全力をつくして会員の皆様のサポートに邁進するつもりであります。しかし令和2年度は、予定していた事業の中止・延期などコロナの状況に合わせた対応をしていかざるを得ない状況です。改めて、コロナ禍の終息を心から祈る次第です。」と挨拶があった。(会長挨拶参照)

次に甲野峰基県歯会会長より「この度の新型コロナウイルス感染予防に対し歯科医療機関が真摯に取り組んだことで今のところ国内において歯科治療に関わる感染者は出ていないことに感謝と敬意を表します。令和2年度は歯科医院経営を含め歯科医療体制復興支援を第一に行なって参りたいと思います。苦しい時、辛い時、それを乗

り切るのは結束力です。これからも現場最優先で会務執行を行なって参りたいと思っています。今こそ心一つにしてこの難局をみなさんと乗り越えていきましょう。」との来賓挨拶をいただいた。

山崎健次郎会専務理事より「5月下旬に第二次補正予算が閣議決定、6月に入り可決されたことで新型コロナウイルス感染予防対策費用の許容範囲が広がった」ことをお話しいただいた。

続いて古稀会員(三宅茂樹氏、久米克英氏、藤原彰氏、古胡英明氏、小林譲治氏、安達雄一氏、森永虎雄氏、山崎達夫氏、福永健一氏、藤林多美子氏、萬浅行氏、豊田眞一氏、陶山ケイ子氏、河田幸雄氏)へのご健康とますますのご活躍をご祈念し、記念品を郵送する予定であることを報告した。

また、平成31年度(令和元年度)に各種表彰を受けられた会員(荒川信介氏、大西定氏、石田栄作氏、水内裕之氏、森田行雄氏、片内恒平氏、木村太言氏、宮地謙氏、松原博久氏、三浦留貴氏、鍋島耕二氏、古胡英明氏、大平勇治氏、芦浦文佳氏、森田眞氏、益田邦男氏)の紹介があった。

続いて、選挙管理委員をお務め下さった大西定氏、藤範恭弘氏の紹介を行った。

そして令和元年度新入会員(中西茂氏、吉田昌弘氏、住田眞一氏、千田禎氏、光山素夫氏、河島紘太郎氏、本川雅英氏、岡崎文彦氏、高橋由佳氏、益田隆志氏、渡邊竜太氏)の紹介が行われた。

議事事項

第1号議案 平成31年度(令和元年度)貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)並びに財産目録の承認を求める件

第2号議案 令和2年度本会会費賦課額並びにその徴収方法について承認を求める件

議長に大石正臣氏、副議長に佐々木みどり氏の選出が行われ、出席者26名、議決権行使者363名の合計389名の会員の参加を得て開催・成立した。議事録署名者に南区の石川潔氏と中区の三次みさと氏が指名された。会務報告、令和2年度事業計画及び収支予算報告を能美専務理事が行った。

次に、令和2年8月1日から2年間任期の、新しい選挙管理委員(佐々木正剛氏、光山武文氏、木村太言氏、石川潔氏、木本極氏)の紹介が行われ、代表して木村太言氏に委嘱状が手交された。

その後、本会の新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについて熊谷会長より報告があった。

その他の報告では、救急蘇生委員会について花岡宏一理事、歯科医療安全相談の状況について森本慎樹理事、広島市歯科医療福祉対策協議会の4事業について、休日等歯科救急医療事業、妊婦歯科健康診査事業、節目年齢歯科健康診査事業と今年度の乳幼児歯科健診について若林大輔理事、在宅訪問歯科健診・診療事業と今期より始まったアウトリーチ型オーラルフレイル予防事業について藤田友昭理事、学校歯科健診歯鏡等の滅菌配送事業について、有馬隆理事から報告があった。

議事に入り下記の議案について、能美専務理事より説明があり、歌野原実監事による監査報告の後、議案全て可決承認された。協議事項はなかったため、最後に瓜生賢副会長の閉会の辞で終了した。今回は新型コロナウイルス感染拡大予防に鑑み懇親会は開催しなかった。



挨拶をする熊谷宏会長(左)と定時総会の様子(右)

第 113 回 定時総会 会長挨拶

令和 2 年 6 月 27 日



先生方、こんにちは。

本日は第 113 回一般社団法人 広島市歯科医師会 定時総会を招集しましたところ、コロナ禍への対応で大変な中、ご出席いただき誠にありがとうございます。

今回は、私が会長を拝命して初めての定時総会となります。

広島県歯科医師会から甲野峰基会長、山崎健次専務理事には会務で大変ご多忙の中、本総会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

後程 ご挨拶を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。

先程はご出席の先生方から「黙祷」を頂戴しましたが、この 1 年間に物故されました 5 名の先生方には深甚なる謝意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りする

次第です。

また、今年古稀を迎えられました 14 名の先生方におかれましては、誠におめでとうございます。後程心ばかりではございますが、記念品をお贈りし、お喜びを申し上げたいと存じます。

令和元年度中に各種の表彰をお受けになられた先生方もご披露させていただき、お喜びを申し上げたいと存じます。

さらに、令和元年 4 月 1 日から本日までの間に、11 名の新入会員の先生方にご入会いただきました。新入会員の先生方には、本会の将来は先生方の肩にかかっていることを十分に認識いただき、積極的で意欲的なご協力を切にお願いするところでございます。

さて私は、会長就任にあたり、「優しく剛い広島市歯科医師会を目指して」、という会長基本方針を立てさせていただき、親睦事業等を通じて会員の先生方の一体感を醸成しながら、若い理事の先生方とともに、会員の高齢化に対する対応など、次なる諸課題への取り組みを通じて、令和の時代の広島市歯科医師会の基礎づくりを行いたいと、会務執行に取り組んでまいりました。

そして、その詳細については、毎月発行の広島市歯科医師会だよりの会長コラムの中で、随時会員の皆様にお知らせして参ったところです。

令和元年度については、後ほど専務からご報告いたしますが、事業は順調に推移し、決算については、次世代の会館建設のための会館維持償却引当を 450 万円余行ったうえで、さらに、単年度で 1030 万円余の黒字決算となり、本会の財産を確実に増やしていくことができました。

ある意味、私たち執行部にとっては、助走期間である令和元年度を終え、いよいよ令和 2 年度の新しい事業計画に基づく、新規事業に取り組もうとした矢先、新型コロナウイルス感染症の拡大という事態に遭遇することとなりました。

歯科医院は危ない、などというマスコミの事実に基づかない報道により、会員診療所には強烈な受診抑制がおり、多くの会員が経営危機に遭遇する事態となりました。また、感染予防に欠かせない医療資材の不足が深刻な状況となりました。

私たち執行部は、今回のコロナ禍は大規模災害に匹敵する緊急事態だととらえ、3 月理事会にて承認した、令和 2 年度事業計画、事業予算を修正し、コロナ対応を事業計画の中心的位置に位置付けるとともに、感染症予防対策費として 500 万円を追加計上し、対応することとしました。

具体的内容の大きな柱は、①会員への情報提供、②不足する医療物資等の物的支援、です。とにかく、会員にあらゆる情報を躊躇なくお送りすることと、不足する医療物資を会としてかき集め、すべての会員に無償で提供することとあります。これを徹底することを、執行部のなかでしっかりと共有し、対応してまいりました。

後ほど専務から報告がありますが、広島市歯科医師会だより号外は、県歯会が行ったアンケート調査の分析も含め、6 回発行しました。この号外は、高く評価していただき、多くの郡市地区から提供の依頼がありました。さらに、県歯会甲野会長のご判断で、県歯会 HP の会員専用サイトにもアップされるなど、本会会

員のみならず、県歯会会員の皆様にもお役に立てたのではないかと考えております。

甲野会長におかれましては、5月初旬に県歯会HP、および新聞広告に掲載された、「県民の皆様へ」と題した意見発信は、県民の不安を取り除き、これを見て、来院された方も非常に多く、危機的状況の会員診療所を救ったご英断だったと思います。この場をお借りして御礼申し上げたいと思います。

また、不足する医療物資等の物的支援については、緊急事態宣言の解除等を受け、第2波の発生を視野に置いて、ウィズコロナの観点から、新しいフェーズに入ったことを意識しつつ、対応を引き続き行っていく所存であります。

先生方からも、我々執行部にどんどんご要望等お寄せいただきますようお願い申し上げます。執行部一同、全力をつくして会員の先生方のサポートに邁進するつもりであります。

このように、令和2年度は、予定していた事業の中止・延期などコロナの状況に合わせた対応をしていかざるを得ない状況です。6月14日実施予定の第36回おくちの健康展も中止せざるを得なくなり、代替の事業を検討しているところです。また、厚生部を中心に新しい懇親事業の計画もしておりました。8月、お子さんも含めた家族での、果物狩りなどの素晴らしい事業計画を立案し、先生方へのご案内を楽しみにしておりましたが、今回の状況の中、中止の判断をせざるを得なくなったことは本当に残念です。改めて、コロナ禍の終息を心から祈る次第です。

さて、本日の総会は、令和元年度の決算及び、令和2年度の会費賦課額等に関するご審議を頂きます。時間短縮の観点から、会務報告については、例年のような説明を省かせていただく部分もありますことをお願い申し上げます。

また、総会後の懇親会も残念ながら中止とさせていただきます。

改めましてお詫び申し上げます、開会にあたってのご挨拶といたします。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

支部だより

中区支部

中区支部ソフトボール練習

日時：6月6日(土)午後6時

場所：千田公園グラウンド

新型コロナウイルス感染により、様々な施設の閉鎖、不要不急の外出自粛などにより、フラストレーションがたまりがちな昨今ではあったが、非常事態宣言の解除により、中区のソフトボールの選手から、「自粛による運動不足を解消したい。練習がしたい。」という声が上がリ、中区南千田町の千田公園グラウンドにおいて、令和2年初めてのソフトボール練習を行った。

思えば、新型コロナウイルス感染の猛威は日本列島を席卷し、当中区支部においても、3月からの県や市の歯科医師会の主だった講習会や様々なイベントが中止になったこともあり、練習参加者の顔ぶれは実に懐かしいものであった。

練習に先立ち、参加者全員の検温を行い、波田佳範中区支部長より、「みなさんお元気でしたか。昨日、熊谷宏会長より、今年のソフトボール大会の中止の報告を受けましたが、我々はこれからの練習を通して、会員同士の親睦を図りましょう。そして可能であれば、他地区、他職種との練習試合を試みたいと思います。」という旨の挨拶が行われた。

今回の練習はおもにゴロ、フライ捕球などの守備練習に力を置き、参加者全員怪我をしないように、また久しぶりのソフトボールの感触を楽しんでいるようであった。昨年まで、当たり前のことのようにできていたことが、やっとできるようになったことに対する幸せを感じたひと時であった。

なお、この練習には波田支部長、香川次郎中區副支部長をはじめ、荒谷恭史氏、小島将督氏、地守宏紀氏、橋本佳子氏、花木清隆氏、平田誠氏、三次みさと氏が参加した。



(左)練習参加者の検温をする波田佳範中區支部長(右)練習参加者一同

広島市中區地域保健対策協議会

日時：6月19日(金)午後7時

場所：大手町平和ビル5階「ボランティア研修室」

標記会が開催された。

小西太中區医師会理事の司会進行の下、田邊徹行中區医師会会長の挨拶が行われた。

その後、議題へと移行し、平成31年度・令和元年度事業報告。同年度の収支決算、監査報告。そして令和2年度の事業計画(案)、予算(案)が上程された。本年は新型コロナウイルス感染の影響もあり、中止になった事業、延期になった事業が見受けられたものの、議案はいずれも満場一致で可決承認された。

その他の案件として、波田佳範本会中區支部長より、新型コロナウイルス感染に対する非常事態宣言解除後の歯科医療のあり方が説明された。資料として5月20日・6月4日に県歯会が中国新聞、読売新聞(広島版)に掲載した意見広告ならびに、同日中国新聞に掲載された「元気な歯でコロナに打ち勝とう！」の記事が用いられ、新型コロナ予防における口腔衛生管理(口腔ケアを含む)と歯科医療の重要性が説かれた。

引き続き、かかりつけ医推進委員会へと移行し、議題に上程された案はすべて可決承認された。

閉会は行廣真明中區区長・同会副会長が行い、一連の会議を終了した。

なお、この会議には中區支部より波田支部長が出席した。



歯科医療の重要性を説く波田佳範中區支部長(ソーシャルディスタンスが保たれているため、議長の許可を得てマスクを外しています)

各部委員自己紹介

前田羊一委員長

こんにちは。地域歯科保健部委員長を拝命しております前田羊一です。2011年4月に広島市歯科医師会に入会し、翌年より公衆衛生部(当時)に所属しました。それから幾年月、流されるままに気が付けば委員長になってしまいました。入会の労を取っていただいた熊谷会長のもとで活動できるのも何かのご縁と感じております。

私は中島小学校から広島城北中・高等学校を経て大阪歯科大学と進みました。昨年歯科健診で久しぶりに中島小学校に行き、音楽室のベーターヴェンがそのままあったのには驚きながらも懐かしい限りでした。城北にも健診で行くのですが、こちらはうってかわって面影を探すのが難しいほど変わっております。と、今回これを書くにあたり初めて気が付いたのですが、小学校在学時新校舎が建設され、城北では体育館が新設、大学では天満橋学舎・新病院が、そして言わずと知れた広島県歯科医師会館が落成と、各々の節目になにかと立ち会っております。建ててないのは父から継承した医院くらいです(笑)

その父は引退しましたが請われて大阪歯科大学監事をやっており、月に何回か大阪に行っています。と言いながら母の支えあってこそですが。子供たちも県外に進学し、娘は大阪歯科大学に在籍しております。息



父母

子は以前ソフトボール練習に顔を出した折に中区の先生方に可愛がっていただきました。私といえば趣味でボウリングをやっており、下手の横好きで各地の歯科医師ボウリング大会に参加しております。娘も大阪歯科大学ボウリング部に所属し、たまに一緒にプレイしております。

さて、自己紹介ともつかぬ駄文を書き連ねてまいりましたが、この辺りで失礼いたします。今後とも地域歯科保健部をよろしくお願いいたします。



家族



ボウリング

濱岡代枝副委員長

平素より大変お世話になっております。地域歯科保健部の副委員長をさせて頂いております、濱岡代枝と申します。生まれも育ちも広島で、平成 23 年に西区で開業、地域歯科保健部には平成 25 年より委員として在籍しております。地域歯科保健部はご存知の通り、多岐にわたる事業を行っており、いろいろな勉強ができるので居座っておりますが、今期もご迷惑をお掛けしないよう務めて参りますのでよろしくお願いいたします。

固くない内容でというお話でしたので、プライベートでお話できることといえば、家族でキャンプの話題をと思っておりましたが、今年はそれどころではありません。ということで、家で楽しむしかないと、部屋には念願のハンモックを取り付け、ベランダには目隠しをして、キャンプに使っているテーブルセットを置きました。さすがに、火を起こしたりは出来ませんので(ちなみに、1階は診療室です…)夜には、百均のろうそく風のライトを置いて楽しんでおります。ろうそく風のライト、微妙な揺らぎ感が良いので、結構お勧めです。

診療室のほうは、雑誌や絵本を撤去して寂しい感じになるかと心配しておりましたが、陶芸と多肉植物が趣味の患者様が季節折々の作品をもってきて下さるので、癒されております。

当分 with コロナの生活、診療が続きそうですが、会からの情報や物資の支給を頼りに、乗り切っていけたらと思っております。

最後になりましたが、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



旦那様と仲良く。



ハンモックで、リラックス。



診療室の受付

森川英彦副委員長

みなさまはじめまして、地域歯科保健部で副委員長を拝命しています森川英彦と申します。

広大歯学部、広大第一補綴学講座と30歳過ぎまで実家生活を満喫した後に、6年ほど京都で勤務して滋賀ライフを満喫し、中学高校で通い慣れた古江の駅前で開業しました。

開業時はいろいろと、本当にイロイロと歯科医師会にお世話になった私は、某理事からかかってきたドスの効いた勧誘電話に一も二もなく入部を決めて以来、地域歯科保健部にはかれこれ5年ほどお世話になっています。

まだまだ日々の仕事に追われ、プライベートライフを満喫できてはいませんが、そろそろ趣味も楽しみたいと思っています。

委員会の先輩方から「キャンプはいいぞ～」と言われ、まずは手始めに家族でコテージに泊ってみました。小さな虫を見つけては叫びながら逃げ回る娘を見て、「食事は作ってもらうほうがいい」という妻の至極当然の意見に耳を傾けて、キャンプを趣味にすることは断念しました。

昔から釣りが趣味で、勉強会の発表やボーナスの時期が近づくと、現実逃避のために周防大島や倉橋島まで小魚と戯れに行っています。家族も釣り好きにするために釣れる釣りに度々誘っていますが、いまのところ何回かに1回付き合ってくれるくらいです。去年まで3年間、「幻の魚アカメを釣ったる！」とお盆に家族をほったらかしで友人と高知に通っていましたが、「森川と行くと釣れん！」と言われたきり、今年はまだお誘いが来ていません。

こんな不憫な私を、会員のみなさま、よろしければご自慢の趣味の世界にお誘いください。

最後になりましたが、委員会に所属させていただいたことで地域の医療職・介護職の方と接する機会を得て、社会と繋がっていることを感じる事ができ大変感謝しております。

今後も微力ながら歯科医師会会員として活動していきたいと思っておりますので、みなさま今後とも宜しくお願いします。



個人防護具解除記念



アカメに構ってもらえず
心折れかけ



家族と釣れる釣り

中川誠副委員長

平素より大変お世話になっております。

地域歯科保健部で副委員長を務めさせていただくこととなりました、中川誠と申します。

南区で育ち修道から九州歯科大学を経て地元南区は段原で開業をしております。

かかりつけ歯科医として地域への貢献ができるよう、また会の仕事もしっかりと頑張っていく所存です。

私は「なんでこんなところにこんなものが？」というものに好奇心がそそられます。

お隣四国には数々の秘境がございます。

中でも有名なのが徳島県の祖谷かずら橋じゃないでしょうか。

平家の落ち武者伝説があり、追手がかかると「ツルでできた橋ごと切り落としてしまえ」ってことで作られたと言われていますが、さすがに現代では鉄パイプでこっそり補強してありました。

それでも観光シーズンになると「そんな人数が一斉に橋に乗っても大丈夫なのかよ？」ってくらい賑わっていました。

また、あまり知られていない秘境としては愛媛県の久万高原に大成(おおなる)という四国最後の秘境があります。人里近い入口の看板に大きく「四国最後の秘境！」と書かれているので間違いありません。

標高 1000m ほどのものすごい山奥に小さな集落があり、その奥に突如立派な神社の参道が現れます。本殿もかなりの大きさで、まさしく「なんでこんなところにこんなものが」を感じることができた場所でした。

以上、秘境探訪系ユーチューバー歯科医師からの報告でした。

これからもご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



祖谷のかずら橋



修道時代にはマラソン大会で何度もお世話になった宮島

6月27日開催の第113回定時総会において、令和元年度決算及び令和2年度の会費賦課額及び徴収方法についての議案をご承認いただきました。

今回は、新型コロナウイルス対応の観点から、会員の先生方の積極的なご参加を求めず、総会後の懇親会も開催しなかったにも関わらず、ご参加いただきました先生方には厚く御礼申し上げます。

会長あいさつを、本日より掲載しておりますので是非お読みいただければと思います。

さて、緊急事態宣言が解除され、徐々に経済活動も再開されていますが、先日広島市においても久しぶりの感染者が確認されるなど、予断を許さない状況が続いております。本会としても、予定している様々な事業は、状況を常に精査しながら実施の有無、実施内容等について検討してまいります。

そんな中、おくちの健康展は開催を断念し、別の事業を模索中です。また、2年に1度のB型肝炎ワクチンの接種事業も、3密防止の観点及び、医師会臨床検査センターの現状も踏まえ中止とさせていただきます。

特に残念なのは、8月に実施予定であった、新規事業の家族親睦事業です。小さなお子様などのご家族と一緒に、三次の平田観光農園での果物狩りや各種イベントを楽しみ、そこから三次ワイナリ

ーエリアでのエクスカーションという素晴らしい企画を厚生部が立案してくれていました。若い先生方が会務参加するために必要な、ご家族の理解を得るきっかけにもなると期待していましたが、バスでの移動などを考慮し中止となったことは残念でなりません。

カーブ観戦についても、すでに確保していたパルコパーティーベランダも払い戻しとなり、白紙の状況となっています。クリスマスパーティーは、ANAクラウンプラザホテルの意向も勘案しながら、実施の有無も含めて検討中です。

行政関連では、中止しておりました春の学校歯科健診について、9月中旬の再開にむけ市教委と広島市歯科医師会での協議を続けています。県歯会が立ち上げた「新型コロナウイルス感染症流行後の学校歯科健康診断における感染対策検討会議」が先日作成した、「新型コロナウイルス流行後の学校歯科健康診断における感染症対策の指針」を準拠しながら実施していくこととなりますが、広島市域においては、特にダブルミラーによる健診をお願いし、十分な数を用意しています。各種対策のため、これまでより健診時間が長くなると思われます。

会長コラム (第11回)

柔しく剛く

新型コロナウイルス感染症を踏まえた本会事業等について

熊谷 宏

その点もご理解賜りますようお願い申し上げます。

各区保健センターにおける、集団健診(1.5歳児、3歳児健診)は、現在も中断しておりますが、未受診の児童の健康を考え、歯科医師会会員医療機関における個別健康診査を特例的に行うことで行政と合意しました。全市均一な保健指導等を実施するために、先日広島市より先生方に送付されました、乳幼児健康診査マニュアル等の内容に同意していただける診療所のみによる手上げ方式で実施いたします。同意書及びマニュアルをしっかりとお読みいただきますようお願い申し上げます。

早いもので、会長に就任して1年が経過し、任期残り1年となりました。今後も、広島市歯科医師会会員のため、全力を尽くしてまいります。何卒会務へのご協力よろしく願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み

(2020年6月)

新型コロナウイルス感染症対策これまでの経緯(2020年5月20日～6月30日)

世界・日本での経過	2020年	広島市歯科医師会での対応
緊急事態宣言全面解除	5月25日	協同組合よりマスク1箱(50枚入)300箱購入
北九州で感染増加傾向、第2波を警戒	5月27日	
	5月28日	困窮者対象アルコール緊急配布
		プラスチックガウン(一体型4,000枚、分離型4,000枚)購入
	5月29日	第4回新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
	5月30日	第5回新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
	6月1日	第36回おこちの健康展中止決定
		広島県歯科医師会より消毒用アルコール一斗缶x4缶到着
「東京アラート」発動	6月2日	だより号外(R2.6.2)、だより号外(R2.6.2追加版)発刊、マスク10枚発送
		広島県歯科医師会より消毒用アルコール一斗缶x14缶到着
		第6回新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
	6月3日	プラスチックガウン(一体型5枚、分離型8枚)、50枚入りマスク1箱、純エタノール700ml配布開始
世界の感染者700万人を越す。	6月8日	
	6月10日	高邑勉元衆議院議員よりゴーグル100個寄贈
国による手指消毒用エタノールの優先供給スキーム始まる。(アスクル)	6月11日	
新型コロナウイルス死者、世界全体で41万人を越す	6月14日	
世界の感染者800万人を越す。	6月18日	
日本の都道府県間移動全面解除		
	6月22日	N95マスク(4枚)及びKN95マスク(5枚)無償配布開始
		日本歯科医師連盟会員にはアルコール同時配布
		(中国醸造(株)「High Alcohol Spirits 65%」3本)
		広島県歯科医師会よりサージカルマスク1箱(50枚入)配布
「次亜塩素酸水」について、使用上の注意点を公表。(経済産業省)	6月26日	
新型コロナウイルスによる世界の感染死者が50万人を超えた。感染者数は28日夜に1000万人を突破した。	6月29日	

※以前のは前号参照

各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より —こんな医療トラブルが起こっています—

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例1：インプラント治療費のトラブル

A病院で担当医に障害者手帳があるので無料でインプラントが出来ると言われ、10本の歯を抜歯して仮歯を入れたが、異動で医師が変わり「どんな理由であってもインプラントに関して自由診療以外取り扱いはない。」と話が変わった。医療相談窓口に行き、診療科長と長時間面談をした所、最終的には「説明不十分だった」と謝罪を受けた。義歯しかないと言われた為、転院して義歯を作ったが歯に合わない。A病院にだまされた。

(センターの対応)

話を傾聴する。センターでは病院に対する指導仲裁はできない。医療ADRの概要を説明し、連絡先を案内した所、納得された。

(コメント)

広範囲顎骨支持型補綴のように、病院においてインプラント治療が保険適応になるケースもあります。しかし、施設基準が必要であったり、適応症例が限られていたりします。事前に適応症例をよく確認し、患者に十分な説明をした上で治療に当たることが大事です。

事例2：治療が乱暴で舌に傷がついた

かかりつけの歯科を、奥歯の冠が外れた為、受診したが手技がとても乱暴で舌に傷がついてとても痛かった。出来れば受診は続けたいがどうしたらいいか？

(センターの対応)

痛い時には「痛い」と言われた方が、いろいろと方法を考えていただけたらと思う、と伝えた。「それで、歯科医師と良い関係が築けるといいですね。」とお話した所、納得された。

(コメント)

痛みなどの感じ方は人それぞれで、自分の思いを口にできない方もおられる為、顔の表情などから患者の心理

を十分にくみ取り、細心の注意を払いながら診療を勧める事が大切です。

事例3：治療が乱暴で痛い

保険で前歯を抜歯して差し歯を作った。その差し歯が欠けたので受診したが、ブリッジをかけるとか歯肉の切開とかいろいろな事をされる。手技も乱暴だし説明もなく、治療の後は痛くて食事もとれない。治療途中で転院しない方がいいのは分かるが、このまま痛い治療を続けられない。どうしたらいいのだろうか？

(センターの対応)

つらい気持ちを傾聴する。センターから医院に対して指導するなど、仲裁する権限はないが、希望があったので、歯科医師会でお話を聞くよう連絡先を教えた。

(コメント)

必要な治療であっても、説明が不足すると患者の不信感を招く事があります。患者の性格なども勘案し治療プランを計画し、十分な説明を行うよう心がけましょう。

事例4：かかりつけ医が薬の変更をしてくれない。

かかりつけの医師が高齢になって頑固になり、口内炎の薬や抗生物質などの治療に決まった薬しか処方されず、効果がないと何度も伝えるが「いらないければ使用しなればいい」と言う。医師なのに独善的だ。今後は別の歯科へ変わった方がいいのだろうか？

(センターの対応)

治療薬はいくつかあるが、処方薬は医師の判断でされる。歯科を変えるのも一つの方法であるが、本人が「自分の性格を知ってもらえているから」と転院したくない様子だったので、口内炎の治療は内科で、歯の事は今の歯科で治療してもらう事を勧めた。

(コメント)

このケースでは、患者さん自身も頑固な人なのかもしれません。言い方一つで不満の原因になるので、患者さんに対する言動には十分に注意しましょう。

事例5：医療ミスについて

初めて行く歯科で、歯石除去後にう蝕を指摘され治療した。帰宅後からその歯がしみ、冷たいものが口に入れない。治療側のリンパも腫れてきて明らかに医療ミスだと思う。明日歯科に行き「前回の治療費を返却しろ。」と要求しようと思うがどうだろうか？電話で問い合わせたら、セカンドオピニオンを受ける歯科がいくつかあったので、そこで医療ミスと認めてもらえれば金を取り戻せるだろうか？

(センターの対応)

歯科との交渉次第になると思うが、どうしてもと言われれば、弁護士相談になる。セカンドオピニオンの流れと、セカンドオピニオンの歯科にも料金がかかる事を説明し、総合的に判断してもらう事にした。

(コメント)

歯科治療において、治療後に不快症状が出る事は治療の性質上避けられない場合が多々あります。術後に生じるであろう症状に関しては前もって十分に説明し同意を得たうえで治療を行い、トラブルを避けましょう。また、セカンドオピニオンを行う場合も、前医の治療に対する評価は、慎重に行いましょう。

地域歯科保健部

「矯正歯科無料相談会」及び「2歳児フッ素塗布事業」再開のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の情勢に鑑み4月より中止していましたが「矯正歯科無料相談会」及び「2歳児フッ素塗布事業」について、以下のように7月より再開いたします。なお、開催日時については、市民向けに広島市歯科医師会ホームページ上にも掲載しています。

矯正歯科無料相談会

日時：令和2年7月25日(土) 午後1時～午後3時30分
場所：広島県歯科医師会館2階 「本会会議室」

2歳児フッ素塗布事業

日時：令和2年7月25日(土) 午後1時～午後3時
場所：広島口腔保健センター

広報部

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

今月の知っておきたいこと

▼【新型コロナ みんなで乗り切る】
受診控えで虫歯や歯周病増加の懸念 歯科医院、感染対策に力

中国新聞 (2020年6月29日)

<https://www.chugoku->

[np.co.jp/living/article/article.php?comment_id=656829&comment_sub_id=0&category_id=1124](https://www.chugoku-np.co.jp/living/article/article.php?comment_id=656829&comment_sub_id=0&category_id=1124)

新型コロナウイルスの影響による「受診控え」が歯科で



も目立つ。歯科医からは口の中が不衛生になり、虫歯や歯周病が増えると懸念する声上がる。特に子どもは長期休校による食生活の乱れや、学校の定期健診延期などでリスクが高まりやすい。安心して来院してもらうため、広島県内の歯科医院では感染対策に力を入れる。

(以下上記リンク先参照)

▼日薬の山本会長が4選「社会から期待される薬剤師を目指す」(6月27日)



Web 医療と介護(2020年6月29日)

<https://info.shaho.co.jp/iryuu/trend/202006/10588>

日本薬剤師会は6月27日、都内で総会および理事会を開き、任期満了に伴う役員改選を行い、山本信夫会長の4選を正式に決定した。

総会で山本会長は、今秋以降に施行が予定されている改正医薬品医療機器等法(薬機法)について「130年ぶりに改正された新たな薬局・薬剤師の概念の下で創設される『地域連携薬局』『専門医療機関連携薬局』への対応は、地域医療提供体制の中では重要な課題だが、それを目指す以前に地域医療を支えるために新たに法が求めた『基本的な薬局』として機能することが第一義に取り組むべきである」と述べた。その上で、「医薬品医療機器等法という新しい革袋は用意された。令和の時代に見合った薬剤師・薬局、さらにそれを裏打ちする確固たる業務を新たな革袋に詰めて、社会から期待される薬剤師・薬局を目指し、先頭に立って会務を進めていきたい」と訴えた。

日本医師会の新会長に中川俊男氏が就任したことについて、「これまでとの日医との関係は変わることはないだろう。中川先生との付き合いも長いので、二人の間では仲良しだと言っている関係だ」と述べた。

副会長は、森昌平氏、安部好弘氏、川上純一氏、田尻泰典氏、宮崎長一郎氏の5氏でいずれも再任。専務理事には、元厚労省薬剤管理官の磯部総一郎氏を新たに選出した。

▼日医会長に中川氏が当選(6月27日)



Web 医療と介護(2020年6月29日)

<https://info.shaho.co.jp/iryuu/trend/202006/10585>

日本医師会は6月27日の定例代議員会で、役員選挙を行った。現会長の横倉義武氏(福岡)と現副会長の中川俊男氏(北海道)が会長に立候補。選挙の結果、中川氏が191票、横倉氏が174票、白票が4票、無効票が2票となり、中川氏が会長に当選した。中川氏は昭和26年生まれの69歳。同日が誕生日だった。札幌医科大学卒、北海道医師会所属。原中勝征会長の下で2年、横倉会長の下で8年副会長を務めた。今回、東京都医師会などの推薦を得た。

役員選挙終了後に会見した中川氏は、「日本医師会の英知を結集し、決めるべきときに決めるスピード感を持ち、国民の命と健康を守るためなら、どのような圧力にも屈しない医師会をつくる」と決意表明した。

副会長は、今村聡氏(東京)、猪口雄二氏(東京)、松原謙二氏(大阪)の3名。今村氏と松原氏は引続きの副会長となった。猪口氏は全日本病院協会の会長でもある。今後の役職について、「両立は難しいとの声も頂いている。今日以降、調整を図っていく」と述べた。

常任理事は以下の通り(10名)。●江澤和彦(岡山) ●長島公之(栃木) ●松本吉郎(埼玉) ●羽鳥裕(神奈川) ●城守国斗(京都) ●釜范敏(群馬) ●渡辺弘司(広島) ●神村裕子(山形) ●宮川政昭(神奈川) ●

橋本省(宮城)

また、横倉氏は名誉会長になった。

▼「今後の歯科診療における留意事項等」を6万5,000人の会員に周知



日歯プレスリリース(2020年6月17日)

https://www.jda.or.jp/jda/release/detail_107.html

新型コロナウイルス感染症における緊急事態宣言の解除を踏まえて、日本歯科医師会は6月2日、「今後の歯科診療における留意事項等」を取りまとめ、都道府県歯科医師会を通じて6万5,000人の会員に周知しました。歯科医療現場では、スタンダードプリコーション(標準予防策)を徹底すると同時にマスク等の衛生用品の供給が厳しいなかで、様々な工夫をして最大限の感染防止に努めてきました。また、日本歯科医師会においても、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて臨床現場の感染防止対策などについて周知を図ってきました。今回の留意事項は、通常診療でこれまで講じてきた感染防止措置の中から有効とされる対応に関して、①診療に関する事項、②待合室などの診療環境に関する事項、③スタッフに関する事項を日本歯科医学会連合の見解を得えながら、地域や各歯科医療機関の状況に合わせて対応していただくために作成したものです。なお、これらを含む内容について日本歯科医学会連合で取りまとめてホームページで公開しています。

(以下上記リンク先参照)

▼2次補正予算が成立 20年度の歳出、160兆円超に



日本経済新聞(2020年6月12日)

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ060287960S0A610C2MM8000/>

新型コロナウイルス対策を盛り込んだ2020年度第2次補正予算が12日、参院本会議で自民、公明両党や立憲民主党など野党共同会派などの賛成多数で可決、成立した。当初予算、第1次補正予算と合わせた20年度の歳出は160兆円を超える。

2次補正の一般会計からの歳出は31兆9114億円で補正予算として過去最大だ。財源は全額を国債の追加発行で賄う。当初予算の歳出は102兆6580億円、1次補正は25兆6914億円だった。緊急事態宣言による外出自粛で影響を受けた企業への支援に重点を置いた。雇用調整助成金の日額上限1万5千円への引き上げや最大600万円のテナントの家賃支援が柱となる。従業員が企業を介さずに申請・受給できる給付金制度も設ける。自治体が新型コロナ対策に活用できる地方創生臨時交付金は2兆円増額する。政府は感染拡大の備えとして、使い道を事前に定めない予備費を10兆円積み増した。立民など野党からの批判を受けて、このうち5兆円については大まかな使途を説明した。(1)雇用維持や生活支援に約1兆円(2)中小企業の事業継続に約2兆円(3)医療体制強化に約2兆円——を充てる。成立後は迅速な予算執行が課題になる。厚生労働省によると雇調金の11日時点の申請件数は15万5553件に対して支給決定件数は8万7195件にとどまる。予算審議では大幅に減収となった

中小企業に最大200万円を支給する「持続化給付金」の委託費や資金の流れが論点になった。

▼診療報酬の減少分につき「医療機関存続支援金」としての支給を要望（日歯連盟）

HYORON（2020年6月15日）

<https://www.hyoron.co.jp/news/n35368.html>

日本歯科医師連盟（高橋英登会長）は6月11日、別紙「要望」を関係方面に提出し、陳情を行った。これは

ニュースピックアップ

▼「外来患者数減」開業医8割超 県保険医会調査 4月、受診控え響く

新潟日報 2020年6月3日

[https://www.niigata-](https://www.niigata-nippo.co.jp/news/national/20200603547278.html)

[nippo.co.jp/news/national/20200603547278.html](https://www.niigata-nippo.co.jp/news/national/20200603547278.html)

新潟県保険医会（新潟市中央区）が県内の開業医を対象に新型コロナウイルスの影響を尋ねた緊急アンケートで、回答した医科の86%、歯科の83%が4月の外来患者数が前年同月に比べて「減った」と答えたことが2日、分かった。患者数の減少率は「30%以内」が、医科の7割、歯科の8割を占めた。

◎新潟県においても、新型コロナウイルスの影響で4月は医科歯科ともに開業医の患者数が減少しているようです。新潟県保険医会によると、5月の緊急事態宣言の解除後も患者の受診控えが続いているようです。今後更に、新型コロナウイルスの影響が長引いていけば、地域医療の崩壊につながっていく可能性が高まっていくかもしれません。

▼3月の生活保護申請、7・4%増…厚労省「失業・収入減の影響出始めている」

yomiDr 2020年6月3日

[https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20200603-](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20200603-OYTEW529516/?catname=news-kaisetsu_news)
[OYTEW529516/?catname=news-kaisetsu_news](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20200603-OYTEW529516/?catname=news-kaisetsu_news)

厚生労働省は3日、今年3月の全国の生活保護の申請件数が2万1026件（速報値）に上り、前年の同じ月と比べて7・4%（1444件）増えたと発表した。厚労省は「一部の自治体では、新型コロナウイルス感染拡大による失業や収入減の影響が出始めている」とみている。

◎不況による慢性的な生活保護の増加に加えて、今回の新型コロナウイルスによる突発的な生活保護需要。長い時間をかけていずれば解消していくのかもしれませんが、当分の間は政府の財政を圧迫する一つの要素となりそうです。

▼新型コロナ エアコンの「風」で飛沫流れ感染 CDCが事例報告

NHK 2020年6月5日

[https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200605/k1001245866](https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200605/k10012458661000.html?utm_int=detail_contents_news-related_003)
[1000.html?utm_int=detail_contents_news-related_003](https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200605/k10012458661000.html?utm_int=detail_contents_news-related_003)

気温が上がり、エアコンを使う機会が増える季節となりましたが、海外の飲食店では、エアコンの風によって飛まつが飛

び、新型コロナウイルスの感染が広がるとみられる事例が報告されています。アメリカCDC＝疾病対策センターなどは、換気を十分に行うよう呼びかけています。

◎エアコンが必要な季節になりましたが、エアコンの風により飛沫が巻き上がり感染を広げた事例があり、院内でもエアコンと換気についてしっかりと管理していかなければなりません。仕事の都合上、診療中は社会的距離を取ることは難しいですが、これからも感染対策を徹底しましょう。



び、新型コロナウイルスの感染が広がるとみられる事例が報告されています。アメリカCDC＝疾病対策センターなどは、換気を十分に行うよう呼びかけています。

◎エアコンが必要な季節になりましたが、エアコンの風により飛沫が巻き上がり感染を広げた事例があり、院内でもエアコンと換気についてしっかりと管理していかなければなりません。仕事の都合上、診療中は社会的距離を取ることは難しいですが、これからも感染対策を徹底しましょう。

▼PCR検査、唾液で可能に 採取簡単、安全性高く—厚労省

時事ドットコム 2020年6月2日

https://www.jiji.com/jc/article?k=2020060200374&g=soc&fbclid=IwAR3kjjVORiIXNOs5s85PfthySoT5Q5m4Y3X7SnPqhf2xm_Hk8A98D9iCUPY

新型コロナウイルス感染の有無を調べるPCR検査について、厚生労働省は2日、発症から9日以内であれば唾液を検体として使用することを認めると発表した。鼻の奥などの粘液を使う従来の方法より簡単で、採取する人の感染防止にもつながる。国立感染症研究所が2日付で検体採取のマニュアルを改め、同省は公的医療保険の対象とする。

◎PCR検査については色々な意見が飛び交っていますが、簡便な方法で検査可能となるのは朗報ですね。

▼PCR検査なしでも退院可能に 厚労相が新たな退院基準

産経ニュース 2020年5月29日

<https://www.sankei.com/life/news/200529/lif2005290086-n1.html>

厚生労働省は29日、新型コロナウイルスの感染患者の退院基準を見直し、発症から一定期間が過ぎれば、PCR検査による陰性確認がなくても退院を認める方針を示した。同日の政府の専門家会議で了承され、5月中にも都道府県などに新基準を通知する見込み。

◎以前の基準は、熱が下がるなど症状が軽快してから24時間経過した後、間隔をあけて2回のPCR検査を実施。いずれも陰性の場合に退院可能としていましたが、新たな基準では原則、発症から14日間が経過し、かつ症状が軽快してから72時間経過すれば、PCR検査なしで退院できるとしています。感染後、これ位の時間がたてば、他人への感染がほぼないという研究を参考にしているとの事です。



▼「マスク高額転売」で全国初の逮捕者、16万枚を売った容疑

yomiDr 2020年6月2日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20200602-OYTET50001/?catname=news-kaisetsu_news

マスクを高額で転売したとして、岡山県警は1日、高松市のハウスクリーニング会社代表取締役の男(34)を国民生活安定緊急措置法違反容疑で逮捕した。男はSNSなどで購入者を募り、「仕入れた約16万枚はほとんど販売した」と供述しているという。

◎このマスク転売ほどではありませんが、普段よりかなりの高額で販売されているマスク。我々医療関係者にとっても大きな問題です。少しずつ下がってくるという販売業者の目測も全世界での一般市民によるマスクの需要が落ち着かない限り、まだまだ信用には足らないのかもしれない。



▼北九州市の感染急増「強い危機感」福岡県知事

産経ニュース 2020年5月29日

<https://www.sankei.com/life/news/200529/lif2005290029-n1.html>

北九州市で新型コロナウイルスの感染者が急増していることについて、福岡県の小川洋知事は29日、定例記者会見で「非常に驚き、強い危機感を持っている」と述べた。県内の休業要請を、予定通り6月1日に全面解除するかどうかは「できるだけ早く決めたい」とした。

◎北九州市によると、4月30日～5月22日は感染確認がゼロだったが、23～28日に計43人の新規感染が判明。28日は21人と急増し、市は医療機関2カ所でクラスターが発生したとみている。6月15日の時点では、広島市の感染確認は、しばらくゼロですが、緩みが起こると同じようなことが起こる可能性があります。正しく恐れる必要があります。



▼「新型コロナで急速に広がった」… Zoom運営企業、売上高2.7倍

yomiDr 2020年6月3日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20200603-OYTET50017/?catname=news-kaisetsu_news

ビデオ会議システム「Zoom」を運営する米新興企業ズーム・ビデオ・コミュニケーションズが2日発表した2020年2～4月期決算は、売上高が前年同期比2.7倍の3億2816万ドル(約350億円)だった。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、在宅勤務や遠隔授業、オンライン飲み会など幅広い用途で利用が急速に広がった。

◎新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、リモートワークをはじめとしているいろいろな分野でWebを利用する機会が増えています。この方式は今後コロナ騒動が一段落した後でも利用を続ける人も多く、新しい情報伝達手段として定着していくものと思われます。



▼高齢者のフレイル予防 とるべき栄養素や食事で注意すること

NHK 2020年6月4日

<https://www.nhk.or.jp/kenko/atc.1223.html>

フレイルとは、加齢にともなってさまざまな機能の低下が進み、それによって健康障害を起こしやすくなっている状態の



ことを言います。

運動機能や認知機能が衰えると、介護の必要な状態に陥るリスクも高まります。心身が衰え、疲れやすくなり、家に閉じこもりがちになることも少なくありません。

◎フレイルを予防するには口の健康も大きく関わっており、咀嚼能力を保つため齲蝕や歯周病の治療、口腔機能を低下させないためのリハビリなど我々歯科医師や歯科衛生士の力が非常に重要だと考えます。健康な人生を送るためにも歯科医師として貢献していきたいものですね。

▼広島大学発ベンチャー(株)

CampusMedico が2020年度の中国地域ニュービジネス大賞を受賞しました

広島大学 2020年6月3日

https://www.hiroshima-u.ac.jp/news/58331?fbclid=IwAR3SEp3ta-cv6Duk_M_u7SzByzUmOectgzIgtMTP9uSfRZs2kVVfsprh4

6月3日、画期的な商品を開発するなどした企業や個人に贈られる「中国地域ニュービジネス大賞」の表彰式が広島市内のホテルで行われ、抗菌力が長期間持続する製品などを手がけた広島大学発ベンチャー(株) CampusMedico(本学大学院医系科学研究科の二川浩樹教授が代表取締役会長)が大賞に選ばれました。

◎コロナ禍の中、二川教授開発の Etak 技術が評価されての受賞です。



▼フェラーリ F1のエンジニアらが人工呼吸器を開発 新型コロナ

NHK 2020年5月16日

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200516/k10012432931000.html>

イタリアのスポーツカーメーカー「フェラーリ」は自動車レースの最高峰、F1のエンジニアらが国の研究所と共同で新型コロナウイルスに感染した重症患者の治療に欠かせない人工呼吸器を開発したと発表しました。設計データは無償で公開され、今後生産が始まります。

◎フェラーリらしくないことに、既存品より生産コストを抑えたと報じられています。しかしフェラーリオーナーが人工呼吸器を必要とする際には第一選択ですね。



▼ネット中傷「制度改正で対応」高市総務相、「テラハ」木村さん死亡で

Yahoo News 2020年5月26日

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20200526-00000044-jjj-pol>

高市早苗総務相は26日の閣議後記者会見で、人気バラエティー番組「テラスハウス」出演者で、23日に死亡した女子プロレスラーの木村花さん(22)がSNS上で誹謗(ひぼう)・中傷を受けていた問題について、「匿名で人を中傷する行為は人として、ひきょうで許し難い」と述べた。

◎歯科においても、ロコミサイト等で、匿名での誹謗中傷の書き込みが問題となっています。政府は匿名発信者の特定を容易にするなどの制度改正を検討しているようです。一部の人間による、全世界にむけた誹謗中傷はあってはならないと思います。





FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオスタート

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

7月1日放送分

「自己免疫力を上げる食事」

広島市歯科医師会 豊田眞仁氏

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、自己免疫力が注目を浴びるようになりました。残念ながら、戦後の食生活の変化により、自己免疫疾患やアレルギーの増加など、私たちの免疫力は低下してきていると言わざるを得ません。今回は、広島市歯科医師会の歯科医師、豊田眞仁さんが自己免疫力を上げる食事について話します。

7月15日放送分

「口臭の原因と対策について」

広島市歯科医師会 大井手和久氏

人と人とのつながりが避けて通れない現代社会では、口臭予防は身だしなみの一つです。口臭のせいで、せっかくのおしゃれも台無しとなり、大切な人間関係に悪影響を及ぼすかもしれません。さわやかな息づかいで好感度アップを目指しましょう。口臭のさまざまな原因や対策方法について広島市歯科医師会の歯科医師、大井手和久さんが話します。

広報部より連載記事をぼちぼちと発信いたします。気長にお付き合いのほどを。

誰もが納得！ I L♥ve 広島弁じゃけえ。

～第9回～ メゲルってなんだ??

二葉里志さんのクリニックは今日も多くの患者が来院しています。開業して4年、3台のチェアはフル回転に近くなってきましたが、30坪のクリニックではチェアを増設するスペースはありません。二葉さんは戦力アップとしてパートのスタッフを雇うことを考え、スタッフ会議で提案しました。個人事業主ではありますが、他のスタッフの同意なく人事を押し進めて総スカンを食った2年前の苦い経験から学習したのです。「みんな頑張ってくれてありがとう。患者数が増えて忙しくなってきたのでパートのスタッフを増員しようと思うんだけどどうかな?」「洗い物が溜まるのでサンセーです」「誰かいい人いないかね?」「今来院してる患者さんから目星をつけて、声かけていいですか?」。

主に洗いのもの担当として50代のCさんがスタッフに加わりました。受付スタッフが人選しただけあって、笑顔が年齢よりも若く見えるのは良いのですが、年齢なりに老眼なのか、何度教えてもリーマー、Kファイル、Hファイルの区別がつかないのは困りものです。それでも積極的に仕事を覚えてくれて、3週間も経つ頃には洗い物と滅菌操作を任せられるほどになりました。二葉さんのクリニックでは1日2回オートクレーブによる滅菌操作を行うのですが、午後の滅菌担当はCさんになりました。オートクレーブの蓋をしっかりと閉めてスイッチオン。ところがいつまで経っても圧力計の針が動きません。それどころか触れてみても温かくもなっていないようです。滅菌が出来なければ外科用器具だけでなく基本セットも足りなくなって、明日の診療が出来ないことぐらいはCさんにも分かります。(ヤバイ...)慌てたCさんは診療中の二葉さんの元に駆け寄り大きな声で「先生!大変です!オカマがメゲました!」。ところが二葉さんの頭の中にはしよぼんと落ち込んだマツコ・デラックスの姿しか浮かびません...

広島県内では老若男女問わず「壊れる」という意味でメゲルを使います。辞書によるとメゲルには①気持ちが悪くける。負ける。②しよげる。がっかりする。③壊れる。欠ける。とありますので、Cさんが使った③の用法も間違いではありません。しかし一般には通じないことが多いようです。少し調べてみると、どうやら③の壊れるの意味が元々の古い言葉で、「壊れる」→「心が壊れる程の落胆」→現代の意味へと変化していったとされています。方言を辿ってみると、由来は古い言葉にあることが多いので楽しいですね。

※本エピソードは筆者の経験に基づいたフィクションです。

※参考文献「広島県方言の研究」広島県師範学校郷土研究室編

※国語学的な知識を持たない一介の歯科医の見解であり、間違っているかもしれません(笑)。

会員ひろば

新入会員紹介

この原稿は益田隆志先生よりご生前にお預かりしており、ご尊父様の益田邦男先生より掲載の承諾をいただきましたのでご紹介させていただきます。



益田 隆志

この度、広島市歯科医師会に入会させていただきました益田隆志と申します。私は、2001年に愛知学院大学を卒業し、同大学の大学院に進学、歯周病学講座に在籍しておりました。2005年に博士学位取得し、その後、同大学歯周病学講座の非常勤助教・講師として勤務しておりました。医局在籍中は医局員にも恵まれ、一緒に楽しい時を過ごすことができました。遠方にいるにもかかわらず、今もなお、交流が続いていることは、大変うれしく思います。

広島に帰郷したのは2009年で、父が開業しているピノキオ歯科医院に勤務し始め、現在に至ります。ピノキオ歯科医院が小児歯科中心ということもあり、私も小児歯科を中心に鍛錬しております。父は2003年に食道がんを患ったのですが、その後は元気に回復し、現在も院長として毎日、診療を続けております。

入会に際しましては、諸先生方にご助言、ご指導をいただき、また、温かく迎え入れていただいたことに、大変感謝しております。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

慣れないことが多く、至らない点多々あるかと存じますが、今後ともよろしく願いいたします。

益田隆志先生におかれましては6月27日に、急逝されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



渡邊 竜太

広島市歯科医師会の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度広島市歯科医師会に入会させていただきました渡邊竜太と申します。私は日本歯科大学新潟歯学部を卒業後、新潟、東京、千葉で10年間勤務医として働いてきました。5年前より広島へ帰郷し父の渡辺幸男の渡辺歯科医院で診療してまいりました。

この度父の渡辺歯科医院と母のバンビ小児歯科医院を継承しまして、同じく西区横川町で渡辺歯科バンビ小児歯科医院を開業させて頂く事になりました。地域の患者さんの為に貢献できるよう精進して参りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

6月定例理事会報告

「部外報告」

- 5月29日 広島市連合地区地域保健対策協議会
令和2年度第1回理事会
- 6月1日 広島市との協議
- 6月3日 広島市子ども家庭支援課との協議
- ” 社会保険診療報酬支払基金再審査
- 6月12日 アウトリーチ型オーラルフレイル事業
事務局説明会顔合せ会
- 6月13日 (県)第147回定時代議員会
- 6月18日 広島県国保連合会歯科再審査部会
- 6月19-23日 広島県国保連合会歯科審査部会
- 6月19-25日 社会保険診療報酬支払基金審査
(合議25日)

「連盟関係」

- 6月20日 連盟理事会、連盟評議員会、
デンタルミーティング

「総務関係」

- 5月29日 第4回新型コロナウイルス感染症対策
特別委員会(ガウン小分け作業)
- 5月30日 第5回新型コロナウイルス感染症対策
特別委員会(ガウン小分け作業)
- 6月2日 第6回新型コロナウイルス感染症対策
特別委員会(アルコール小分け作業)
- 6月17日 第2回支部長・副支部長会
- 6月22日 おくちの健康展代替案検討会議
- 6月23日 (Web会議)三役会
- 6月24日 定例理事会

「慶弔関係」

「入会退会関係」

- 6月17日 入会前面談(細川由紀子先生、
鎌田浩一先生)
- 6月22日 中区支部 山岡学先生退会

「県歯理事会関係」

- 6月4日 県歯理事会

(1) 総務部 (森本理事)

- 6月2日 休日診療レセプト点検
- ” 第6回新型コロナウイルス感染症対策
特別委員会(アルコール小分け作業)
- 6月11日 (県)保険部常任委員会
- 6月12日 総務部定例委員会
- 6月17日 入会前面談(細川由紀子先生、
鎌田浩一先生)

(2) 学術部 (花岡理事)

- 6月12日 学術部定例委員会(Web会議)

(3) 厚生部 (谷理事)

- 5月29日 第4回新型コロナウイルス感染症対策
特別委員会(ガウン小分け作業)

- 6月2日 第6回新型コロナウイルス感染症対策
特別委員会(アルコール小分け作業)

- 6月9日 厚生部定例委員会

(4) 地域歯科保健部

- 6月10日 (県)地域保健部、学校保健部、
介護・福祉医療部常任委員会
- 6月19日 地域歯科保健部定例委員会
- 6月22日 おくちの健康展代替案検討会議

<学校保健> (有馬理事)

- ・令和2年度定期健康診断について
- ・「保育施設での歯科疾患及び歯科保健
活動の実態調査会議事業」
日歯広報掲載について
- ・(県)新型コロナウイルス流行後の学
校歯科健康診断における感染対策検
討会議について

<地域保健> (若林理事)

- 5月29日 (県)第1回啓発資料等整備検討会議
(Web会議)
- 6月1日 広島市との協議
- 6月3日 広島市子ども家庭支援課との協議
- 6月4日 (県)健康増進法に基づく歯周病健診の
普及促進会議(Web会議)
- 6月5日 (県)第2回啓発資料等整備検討会議
(Web会議)
- 6月17日 第2回支部長・副支部長会
- 6月23日 (県)第3回啓発資料等整備検討会議

<地域連携> (藤田理事)

- 6月1日 広島市との協議

(5) 広報部 (水内理事)

- 6月2日 校正委員会(Web会議)
- 6月11日 FMちゅーピー収録
- 6月16日 情報調査委員会(Web会議)
- 6月22日 おくちの健康展代替案検討会議

FMちゅーピー (新聞掲載)

- 7月1日 「自己免疫力を上げる食事」
広島市歯科医師会
豊田 眞仁氏
- 7月15日 「口臭の原因と対策について」
広島市歯科医師会
大井手和久氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

- ホームページアクセス数
- 一般サイト 訪問者 1,856 (累計 154,351)
- ページビュー 29,293 (累計 579,834)
- 会員サイト 訪問者 182 (累計 29,729)
- ページビュー 842 (累計 219,639)

(7) 特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

(9) 歯科医療安全相談

- | | | |
|-------|----|---|
| 6月 8日 | 相談 | ブリッジにするか義歯が良いか
(60歳代女性) |
| 〃 | 相談 | 睡眠時無呼吸症候群のマウスピース作成について(70歳代女性) |
| 6月10日 | 相談 | 本会会員の診療所に電話しても出ない(60歳代女性) |
| 〃 | 相談 | CTの費用について
(50歳代女性) |
| 6月11日 | 苦情 | 外国人患者の受診拒否について
(60歳代男性)
広島市医療安全支援センター経由 |
| 〃 | 苦情 | 説明なくいきなり別の歯を削られた(80歳代女性)
6/12 同内容 tel あり |
| 〃 | 苦情 | 投薬によるアレルギーについて
(40歳代女性) |

「協議事項」

- (1) 会費について (3名)

診療所状況変更による会費額変更について1名承認。診療形態の変更による会費額変更について2名承認。

- (2) 入会について
中区支部3名継続審議中。
- (3) 広島市歯科医師会保険講習会について
協議・継続審議
- (4) 会員家族親睦事業について
今年の夏の事業は中止決定
- (5) 原爆死没者慰霊祭について
協議・確認
- (6) 広島東洋カープ観戦の集いについて
7月の観戦計画は中止・継続審議
- (7) 新型コロナウイルス抗体検査について
臨床検査センターよりの情報・協議・継続審議
- (8) クリスマスパティーについて
協議・継続審議
- (9) 新型コロナウイルスへの取り組みについて
協議・だよりに1ヵ月ごとの取り組み内容を掲載していくことを確認
- (10) 第113回定時総会について
協議・確認
- (11) その他
フッ素無料塗布再開の連絡

「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: hiroshima@dentalpark.net

広報部担当理事 水内裕之 E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : **Futaba**

本会PASS : **2622662**

協議会PASS : **welfare**

投稿記事締め切りは**毎月 25 日**です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

をお願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里 3 丁目 2 番 4 号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

